

Cisco Connected Mobile Experiences (CMX) リリース 11.1.0 のリリースノート

最終更新：2026年7月8日

はじめに

Cisco Connected Mobile Experiences (Cisco CMX) リリース 11.1.0 は、高密度 Wi-Fi 展開におけるモビリティサービスの要件に対処する、パフォーマンスが高く拡張性のあるソフトウェアソリューションです。特に明記されていない限り、Cisco Connected Mobile Experiences は、このドキュメントでは Cisco CMX と呼ばれます。

このリリースは、次の機能が必要なオンプレミス展開に適しています。

- 検出と位置特定
- Analytics
- HyperLocation
- 米国連邦情報処理標準 (FIPS) の展開
- Cisco Prime Infrastructure リリース 3.10 以降との統合
- Cisco Catalyst Center (旧 Cisco DNA Center) との統合
- セキュリティ アサーション マークアップ言語 (SAML) シングルサインオン (SSO)

このリリースは、Cisco Adaptive Wireless Intrusion Prevention System (aWIPS) が必要な展開には適していません。

Cisco CMX リリース 11.1.0 の新機能

Cisco CMX リリース 11.1.0 には、AlmaLinux オペレーティングシステムのアップグレードが含まれており、Cisco CMX リリース 11.0.0 および Cisco CMX リリース 11.0.1 で報告された複数の脆弱性に対処できます。

以前のリリースの Cisco CMX リリース 11.0.0 および Cisco CMX リリース 11.0.1 からアップグレードできます。Cisco CMX リリース 11.0.0 および Cisco CMX リリース 11.0.1 からアップグレードする場合、Linux カーネルをアップグレードするには Cisco CMX サーバーを再起動する必要があります。

Cisco CMX リリース 11.1.0 では、Cisco CMX リリース 10.6.3-146 から最新の Cisco CMX リリース 11.0.1 へのデータの移行がサポートされています。Cisco CMX リリース CMX 11.0.0-154 および Cisco CMX リリース 11.0.1-129 からデータを移行するには、**cmxos upgrade** コマンドを使用します。



- (注)
- Cisco CMX リリース 11.1.0 にアップグレードする前に、Cisco CMX リリース 11.0.0 および Cisco CMX リリース 11.0.1 でルートパスワードを無効にする必要があります。
 - データの移行またはインラインアップグレードは、Cisco CMX リリース 10.6.3-146 より前のリリースではサポートされていません。
 - Cisco CMX リリース 11.1.0 は、Cisco Mobility Services Engine (MSE) 3375 アプライアンス および M6 デバイスでサポートされています。詳細については、『[Cisco Mobility Services Engine Virtual Appliance Installation Guide for Cisco CMX リリース 11.1.0](#)』を参照してください。
 - Cisco CMX リリース 11.1.0 は、Cisco Mobility Services Engine (MSE) 3365 アプライアンス ではサポートされていません。

Cisco CMX OVA をインストールするには、次の手順を実行します。

1. [\[Software Download\]](#) ページで利用可能な CISCO_CMX-11.1.0-21.ova ファイルをダウンロードします。
2. プライマリサーバーおよびセカンダリサーバーに、Cisco CMX リリース 11.1.0-21 OVA ビルドをインストールします。
3. 該当する Cisco CMX リリースからデータを移行します。詳細な手順については、「[Data Migration](#)」を参照してください。

表 1: Cisco CMX リリース 11.1.0 の新機能

機能	説明
AlmaLinux アップグレード	このリリースでは、AlmaLinux 8.7 から AlmaLinux 8.10 へのアップグレードがサポートされており、さまざまなコンポーネントに対する脆弱性の修正がサポートされています。詳細については、「 CSL AlmaLinux Upgrade 」を参照してください。
Customer Success Management Software (CSM) ツールキットのサポートおよび Cassandra のアップグレード	このリリースでは、最新の CSM ツールキットバージョンおよび Cassandra バージョン 4.1.5 がサポートされています。
Transport Layer Security (TLS) プロトコルバージョンのサポート	このリリースでは、デフォルトの TLS 設定の更新またはオーバーライドがサポートされています。この機能により、TLSv1.2 のみをサポートする以前の Catalyst Center リリースをサポートできます。詳細については、「 Cisco CMX Command Reference Guide, Release 11.1.0 」を参照してください。

機能	説明
自己署名証明書の更新	このリリースでは、自己署名証明書の Subject Alternate Name (SAN) フィールドに IP アドレスを追加することがサポートされています。詳細については、「 Cisco CMX Command Reference Guide, Release 11.1.0 」を参照してください。
新規サポート対象のアクセスポイント	<ul style="list-style-type: none"> • Cisco Wireless 9176 シリーズ アクセスポイント • Cisco Wireless 9178 シリーズ アクセスポイント • Cisco Wireless 9172 シリーズ アクセスポイント
新規サポート対象の物理アプライアンス	このリリースでは、M6 アプライアンスのサポートが導入されています。
NTP 認証	このリリースでは、 chronyd サービスを使用した NTP 認証がサポートされています。詳細については、「 Configuring Authenticated NTP Server 」を参照してください。
Cisco Catalyst 9800 シリーズ ワイヤレスコントローラ Cisco IOS XE 17.15.2 ソフトウェアと Wi-Fi 7 クライアント (マルチリンク)	このリリースでは、新しいメッセージの識別と古い形式 (下位互換性のため) がサポートされています。詳細については、「 Wireless Controller and Wi-Fi Client Support 」を参照してください。
[Call Home] エンドポイントの Cisco Smart Licensing	このリリースでは、Cisco Smart Licensing で使用される [Call Home] エンドポイントの設定更新がサポートされています。
データの移行	以前の Cisco CMX リリースから Cisco CMX リリース 11.1.0 へのデータ移行がサポートされています。詳細については、「 Data Migration 」を参照してください。
Cisco CMX ルートログイン	このリリースでは、すべての Cisco CMX サービスがダウンしている場合でも、ルートチャレンジを生成し、ルートログインを有効化または無効化できます。
Bouncy Castle 暗号化ライブラリのアップグレード	<p>このリリースでは、Bouncy Castle 暗号化ライブラリバージョン bc-fips-2.0.0 のサポートが導入されています。このアップグレードは FIPS モード用であり、FIPS が承認した暗号化アルゴリズム、暗号方式を使用し、NMSP 接続で RSA 暗号をブロックします。</p> <p>このバージョンアップグレードは、nmsplb、Configuration、Location、Hyperlocation などの Cisco CMX コア Java プロセスにのみ影響します。</p>
重大な問題の修正	重大な問題の修正が含まれています。

システム要件

サポート対象ハードウェア

- Cisco CMX は仮想 Cisco MSE アプライアンスとしてインストールできます。インストールにはVMware ESXi 7.0 が必要です。VMware vCenter を使用した OVA 展開は、VMware ESXi 7.0 以降でサポートされています。VMware vCenter バージョンは 7.x 以降である必要があり、それ以前のバージョンはサポートされていません。



(注) vSphere Hypervisor ESXi 6.0 は一般サポート終了です。

仮想 Cisco MSE アプライアンスのインストールの詳細については、このリリースの『Cisco MSE Virtual Appliance Installation Guide』を参照してください。

<https://www.cisco.com/c/en/us/support/wireless/mobility-services-engine/products-installation-guides-list.html>



- (注)
- データ移行は、Cisco CMX リリース 10.6.3-146 から Cisco CMX リリース 11.1.0 のみサポートされます。
 - Cisco CMX リリース 10.6.3-146 より前の Cisco CMX リリースは、データ移行またはインラインアップグレードではサポートされていません。
 - リリース 10.6.3-146 より前の Cisco CMX リリースを使用している場合は、Cisco CMX リリース 10.6.3-146 にアップグレードしてから、cmx-11-migration-readiness-patch リリースをインストールして、データを移行する必要があります。
 - Cisco CMXはVMware ツールをサポートしていません。

次の表に、VMware 上の仮想 Cisco MSE アプライアンスに関する Cisco CMX ハードウェアガイドラインを示します。完全な要件については、コネクテッドモバイルエクスペリエンス データシートを参照してください。

<https://www.cisco.com/c/en/us/products/wireless/mobility-services-engine/datasheet-listing.html>

表 2: ハードウェアガイドライン

ハードウェアプラットフォーム	ローエンドアプライアンス	標準アプライアンス	ハイエンドアプライアンス
CPU	8 vCPU 4 物理コア	16 vCPU 8 物理コア	20 vCPU 10 物理コア

ハードウェア プラットフォーム	ローエンドアプライアンス	標準アプライアンス	ハイエンドアプライアンス
RAM	24 GB の RAM	48-GB RAM	64-GB RAM
HDD ¹	550 GB	550 GB	1 TB

¹ Cisco CMX OVA のインストールでは、すべての仮想マシンで 250 GB がデフォルトのハードディスクドライブ (HDD) です。OVA ファイルを展開した直後に VM の電源をオンにする前に、ディスク容量を次の表に記載されている推奨量まで増やします。これにより、Cisco CMX の使用中に HDD リソースが不足しなくなります。VM の電源をオンにする前にディスク容量を増やす方法がわからない場合、ディスク容量を増やす方法に関する [VMWare のガイドライン](#) を参照してください。

推奨ディスク容量を選択しない場合、基本インストールではデフォルトで 160 GB のディスク容量が使用されます。



(注) Cisco Hyperlocation は、Cisco Connected Mobile Experiences 対応のハイエンド Cisco CMX アプライアンスでのみサポートされています。デフォルトでは、Cisco Hyperlocation はローエンドアプライアンスで無効になっています。

- Cisco CMX リリース 11.1.0 は、Cisco Mobility Services Engine (MSE) 3365 アプライアンスではサポートされていません。
- 互換性については、以下の『*Cisco Wireless Solutions Software Compatibility Matrix*』の「Cisco Connected Mobile Experiences (CMX) Compatibility Matrix」セクションを参照してください。
<https://www.cisco.com/c/en/us/td/docs/wireless/compatibility/matrix/compatibility-matrix.html>

サポートされているシスコのアクセス ポイント

Cisco CMX リリース 11.1.0 では、次のアクセスポイントをサポートしています。

- Cisco Wireless 9176 シリーズ アクセスポイント
- Cisco Wireless 9178 シリーズ アクセスポイント
- Cisco Wireless 9172 シリーズ アクセスポイント

ソフトウェア要件

Cisco CMX を展開する前に、次のドキュメントを参照することを強く推奨します。

- スケーリングについては、次の場所にある *Cisco Connected Mobile Experiences Data Sheet* を参照してください。

<https://www.cisco.com/c/en/us/products/collateral/wireless/mobility-services-engine/datasheet-c78-734648.html>

- Cisco Spaces をサポートするには、Cisco CMX リリース 10.6.0 以降が必要です。
- Cisco CMX (Cisco CMX Location and Configuration APIs を含む) は、Google Chrome をバージョン 63 まで使用してテスト済みです。



(注) Google Chrome バージョン 72 以降を使用している場合は、ブラウザとして Mozilla Firefox を使用するか、Google Chrome バージョン 63 にダウングレードすることを推奨します。

- Cisco CMX は英語の入力および出力のみをサポートしています。
- Cisco Prime Infrastructure を Cisco CMX とペアリングすると、クライアント情報とロケーションが表示されますが、クライアント履歴は表示されません。

Cisco Prime Infrastructure および Cisco MSE アプライアンスとの Cisco CMX 機能のパリティの詳細については、以下の『*Cisco CMX Configuration Guide*』の「Getting Started」章にある「Cisco CMX Feature Parity」セクションを参照してください。

<https://www.cisco.com/c/en/us/support/wireless/connected-mobile-experiences/products-installation-and-configuration-guides-list.html>。

- 互換性については、以下の『*Cisco Wireless Solutions Software Compatibility Matrix*』の「Cisco Connected Mobile Experiences (CMX) Compatibility Matrix」セクションを参照してください。

<https://www.cisco.com/c/en/us/td/docs/wireless/compatibility/matrix/compatibility-matrix.html>

- システムメモリの詳細については、次の表を参照してください。

表 3: Cisco MSE のシステムメモリ

Cisco MSE アプライアンスモデル	RAM の割り当て
標準 vMSE	48 GB
ハイエンド vMSE	64 GB



(注) 高可用性ペアリングチェックは、ソフトウェアバージョンとハードウェア仕様に対して行われます。高可用性のペアでは、CPU 数、メモリサイズ、およびハードドライブサイズが一致している必要があります。また、Cisco CMX、Redis、Cassandra、および Postgres データベースのソフトウェアバージョンが同じである必要があります。

ライセンス情報

表 4: Cisco CMX ライセンス

Cisco CMX ライセンス	機能
Cisco Spaces EXTEND (Cisco CMX ベース)	<ul style="list-style-type: none"> • Cisco CMX RSSI ベースのロケーション計算を、Cisco Catalyst Center、Cisco Prime Infrastructure、および Cisco Identity Services Engine などのシスコ製品で使用 • Cisco CMX ロケーションデータの使用 Catalyst Center • Cisco Prime Infrastructure での Cisco CMX ロケーションデータの使用 • Cisco CMX と Cisco Spaces のテザリング • Business Insights および Cisco Spaces のその他の機能を利用可能な場合にのみ使用 • 使用可能な場合に、Cisco Spaces の基本検出および検索機能を使用 • 使用可能な場合に、Cisco Spaces の基本位置分析機能を使用 • Cisco CMX または Cisco Spaces ユーザーインターフェイスの [DETECT]、[MANAGE]、および [SYSTEMS] タブへのアクセス
Cisco Spaces ACT (Cisco CMX Advanced)	<ul style="list-style-type: none"> • Cisco FastPath や Cisco Hyperlocation を含む Cisco CMX の高度な位置計算機能 • キャプティブポータル機能 Cisco Spaces を利用可能な場合はそのまま使用 • 使用可能な場合に、Cisco Spaces のプロフィールおよびエンゲージメント機能を使用 • 使用可能な場合に、Cisco Spaces の高度なロケーション分析機能を使用 • 使用可能な場合は、Cisco Spaces の Operational Insights 機能を使用 • 使用可能な場合は、Cisco Spaces の高度な検出および検索機能を使用



- (注) ベースロケーション分析と詳細なロケーション分析の主な違いは、使用できるフィルタです。高度なロケーション分析（ACT ライセンス）では、SSID フィルタを使用してより詳細な分析を行うことができます。基本ロケーション分析（SEE および EXTEND ライセンス）には、SSID フィルタがありません。代わりに、日付範囲フィルタを使用して場所をフィルタ処理できますが、グループ、フロア、ゾーンごとではありません。

Cisco CMX ライセンスには、以下の主な機能と要件が適用されます。

- **[Evaluation license]** : Cisco CMX 評価ライセンスでは、120 日間すべての機能が提供されます。カウントダウンは、Cisco CMX を起動してサービスを有効にすると開始されます。
期限切れの2週間前に、日次アラートが送信され、永久ライセンスを取得するよう求められます。評価ライセンスの有効期限が切れると、Cisco CMX GUI または API にアクセスできなくなります。永続ライセンスを追加するまで、Cisco CMX は引き続きバックグラウンドで実行され、データを収集します。
- **クラウド接続** : Cisco CMX をクラウドに接続するには、Cisco Spaces ライセンス（ACT/EXTEND）が必要です。クラウドライセンスには、Cisco CMX を有効にするために必要な Cisco CMX ライセンスが含まれています。
- **拡張機能** : Cisco CMX には、Cisco Hyperlocation 機能の使用に Cisco CMX 拡張ライセンスが必要であることを警告するライセンスの変更が含まれるようになりました。ライセンスに関する質問については、シスコアカウントチームにお問い合わせください。
- **[High availability]** : Cisco CMX の高可用性機能は、Cisco CMX Base ライセンスの一部であり、プライマリ HA サーバーにインストールする必要があります。セカンダリ HA サーバーは、同期中に Cisco CMX ライセンスのコピーを自動的に受信します。インストールする HA 固有のライセンスはありません。
- **[Certificate management]** : サードパーティの証明書が HA セットアップにインストールされる場合、その証明書はプライマリおよびセカンダリ CMX サーバーの両方に個別にインストールする必要があります。詳細と手順については、『Cisco CMX Configuration Guide』の「Installing a CA-Signed Certificate for High Availability in Cisco CMX」セクションを参照してください。

https://www.cisco.com/c/en/us/td/docs/wireless/mse/10-6/cmx_config/b_cg_cmx106/getting_started_with_cisco_cmx.html#id_122557.

Cisco CMX ライセンスの購入については、『Cisco Connected Mobile Experiences (CMX) Version 10 Ordering and Licensing Guide』を参照してください。

<https://www.cisco.com/c/en/us/solutions/collateral/enterprise-networks/connected-mobile-experiences/guide-c07-734430.html>.

ライセンスの追加および削除の詳細については、『Cisco CMX Configuration Guide』の「Managing Licenses」セクションを参照してください。

<https://www.cisco.com/c/en/us/support/wireless/connected-mobile-experiences/products-installation-and-configuration-guides-list.html>

インストールおよびアップグレード情報

- Cisco CMX リリース 11.1.0 は、Cisco CMX の新しい OVA インストールです。
- Cisco CMX リリース 11.0.0 および Cisco CMX リリース 11.0.1 から Cisco CMX リリース 11.1.0 へのインラインアップグレードがサポートされています。
- Cisco CMX リリース 10.6.3-146 より前のリリースから Cisco CMX リリース 11.1.0 へのインラインアップグレードおよびデータ移行はサポートされていません。
- データの移行は、Cisco CMX リリース 10.6.3-146 以降のリリースから Cisco CMX リリース 11.1.0 へのみサポートされています。
- このリリースからのダウングレードはサポートされていません。

制限事項、制約事項、および重要な注意事項

- (CSCve28851) 次のエラーメッセージは、MATLAB がロケーション計算に厚い壁のみをカウントするのに対し、Java はフロアマップ上のすべての障害物をカウントするために表示されます。ヒートマップが正しく生成および保存されるため、このメッセージは無視してください。

```
ERROR com.cisco.mse.matlabengine.heatmap.BaseMatlabHeatmapBuilder -  
MatlabHeatmapBuilder#createApInterfaceHeatmap Number of heavy walls used by Matlab:  
  
<nn> not equal to count reported by Java: <nn> during heatmap calculation for AP  
Interface: 88:f0:31:08:06:70-5.0-2.
```

- (CSCve37513) Cisco CMX は、Cisco CleanAir システムと同じ干渉の送信元を検出します。詳細については、『Cisco Wireless Controller Configuration Guide』リリース 8.4 の「Wireless Quality of Service」の章にある「Configuring Cisco CleanAir on the Cisco Wireless LAN Controller (GUI)」の項を参照してください。

https://www.cisco.com/c/en/us/td/docs/wireless/controller/8-4/config-guide/b_cg84/wireless_quality_of_service.html#ID51

干渉のソースは次のとおりです。

- Bluetooth Paging Inquiry : Bluetooth の検出 (802.11b/g/n のみ)
- Bluetooth Sco Acl : Bluetooth リンク (802.11b/g/n のみ)
- Generic DECT : デジタル コードレス電話
- Generic TDD : 時分割複信 (TDD) 送信機
- Generic Waveform : 連続送信機
- Jammer : 電波妨害デバイス
- Microwave : 電子レンジ (802.11b/g/n のみ)
- Canopy : キャノピーブリッジデバイス

- Spectrum 802.11 FH : 802.11 周波数ホッピング デバイス (802.11b/g/n のみ)
 - Spectrum 802.11 inverted : スペクトラム反転 Wi-Fi 信号を使用するデバイス
 - Spectrum 802.11 non std channel : 非標準の Wi-Fi チャンネルを使用するデバイス
 - Spectrum 802.11 SuperG : 802.11 SuperAG デバイス
 - Spectrum 802.15.4 : 802.15.4 デバイス (802.11b/g/n のみ)
 - Video Camera : アナログビデオカメラ
 - WiMAX Fixed : WiMAX 固定デバイス (802.11a/n/ac のみ)
 - WiMAX Mobile : WiMAX モバイルデバイス (802.11a/n/ac のみ)
 - Xbox : Microsoft Xbox (802.11b/g/n のみ)
- (CSCvg10317) Cisco CMX を実行している Cisco MSE 仮想マシン (VM) アプライアンスは、電源障害後に電源をオンにすると、正しく機能しないことがあります。次の場所で生じた場合：
 1. **cmxos date** コマンドを使用して、Cisco CMX システムの日付が現在の日付と一致することを確認します。日付が一致しない場合は、NTP サーバーを使用して日付を同期します。
 2. **cmxctl stop -a** コマンドを入力して、Cisco CMX サービスをシャットダウンします。
 3. **cmxctl start** コマンドを入力して、サービスを再起動します。
 - (CSCvg28274) NMSP トンネルのフラップが発生している場合は、外部アドレスに ping を実行して、DNS 解決が低速であるか確認します。遅い場合は、localhost にマッピングされるエントリーを除き、/etc/resolv.conf ファイル内のすべての外部 DNS サーバーエントリーを削除します。
 - (CSCvg79749) Cisco CMX リリース 10.4.0 では、v3 クライアント API が導入され、v2 クライアント API は廃止されました。v2 API の代わりに v3 API を使用することを推奨します。v2 API を長期間使用すると、Cisco CMX ロケーションサービスで CPU 使用率が高くなります。Cisco CMX ロケーションサービスを再起動して条件を修正します。
 - (CSCvi07385) VMware vSphere ESXi 6.5 Update 2 では、Cisco CMX OVA ファイルを正常に展開できます。更新2では、展開オプション (ローエンド、標準、およびハイエンド) が表示されます。[object Object] などの軽微なエラーテキストも表示されます。
VMware vSphere ESXi 6.5 および VMware vSphere ESXi 6.5 Update 1 では、展開オプションは表示されません。
 - (CSCvi84935) 最初の HA 同期中に Cisco CMX 分析およびロケーションサービスの CPU 使用率が高くなることもあり、同期が不完全になることがあります。この場合、システムからシスココントローラを削除して、Cisco CMX 分析サービスの CPU 使用率を減らします。これにより、最初の HA 同期を完了するための十分なメモリが提供されます。

- (CSCvj52515) コンパクトの履歴を維持する際に大きなオーバーヘッドが発生します。これにより、フロアまたはゾーンで日ごとに確認される一意のクライアントをクエリできません。これは、Cassandra データベースに保存されている通常のクライアント履歴には影響しません。



- (注) Cisco CMX リリース 10.4.1-15 以降、コンパクトなロケーション履歴の機能フラグ設定はデフォルトで無効になっています。システムで Cisco CMX の以前のリリースが実行されている場合、[Feature Flags] 設定を無効にすることを推奨します。

機能フラグの設定を無効にするには、次のコマンドを入力します。

1. **cmxctl config featureflags location.compactlocationhistory false**
2. **cmxctl agent restart**
3. **cmxctl location stop**
4. **cmxctl location start**

- (CSCvn98927) 単一のインターフェイス (ens32) に IP アドレスを割り当てることを推奨します。2つのインターフェイスに IP アドレスを割り当てると、データが両方のインターフェイスに移動するため、Cisco CMX でパケットがドロップされ、クライアントのトラッキングに関連する問題が発生します。
- (CSCvo14248) PDF 形式でのスケジュールされたレポートの生成は、Cisco CMX リリース 10.5.0 以降ではサポートされていません。代わりに、**PrtSc** オプションを使用します。この機能セットは製品から削除されます。
- (CSCvo60319) Cisco CMX で、インスタグラムで OAuth を使用すると、ログインポータルが常に表示されないことがあります。ログインポータルが表示されない場合は、ブラウザのページを更新してください。
- (CSCvp00432) Cisco CMX リリース 10.6.0 の時点では、Cisco CMX では Historylite (/api/location/v1/historylite) API はサポートされなくなりました。API には、パフォーマンスの問題を引き起こしているコンパクトなロケーション履歴を収集する必要があります。
- (CSCvp11685) Cisco CMX で FIPS モードが有効になっている場合、Cisco Prime Infrastructure リリース 3.5 でマップのオンライン同期 (Cisco Prime Infrastructure からのインポート) が失敗します。

Cisco Prime Infrastructure リリース 3.5 から FIPS モードが有効になっている Cisco CMX にマップをインポートするには、『Cisco CMX Configuration Guide』の「Importing Maps」で説明されているように、Cisco Prime Infrastructure の tar ファイルをダウンロードしてから、その tar ファイルを Cisco CMX にアップロードする必要があります。

<https://www.cisco.com/c/en/us/support/wireless/connected-mobile-experiences/products-installation-and-configuration-guides-list.html>

- (CSCvp19413) Cisco CMX API 正規表現で丸カッコ (カッコなど) を使用する必要がある場合は、バックスラッシュ (\) を使用して次の文字をエスケープします。たとえば、次の文字列の代わりに：

```
Global->System Campus>1212 Deming Way (TTD)>Floor 1
```

次の文字列を使用します：

```
Global->System Campus>1212 Deming Way \(TTD\)>Floor 1
```

- (CSCvp31400) FIPS モードの Cisco CMX は、aes128-ctr および aes256-ctr 暗号をサポートしていません (非 FIPS モードの Cisco CMX はサポートしています)。Cisco Catalyst 9800 ワイヤレスコントローラでこれらの暗号のいずれかが使用されている場合、FIPS モードで Cisco CMX と通信できません。

FIPS モードの Cisco CMX は、aes128-cbc、aes256-cbc、aes128-gcm@openssh.com、および aes256-gcm@openssh.com 暗号のみをサポートします。

- (CSCvp25049) [Repeat Devices] API では、過去のロケーションデータからの情報が必要になるため、必要なすべての情報は提供されません。これは、[compacthistory] 機能フラグによって管理されます。機能フラグは、パフォーマンスの問題を引き起こすため、デフォルトで無効になっています。
 - (CSCvp92688) [All Client History] API の locatedAfterTime から locatedBeforeTime までの期間が 1 時間または 20 分である場合、Cisco CMX は Cassandra データベースから大量の履歴データを処理できない可能性があります。Cassandra エクスポートツールを使用して履歴データを抽出することを推奨します。
 - (CSCvp81962) Cisco CMX セッションアイドルタイムアウト時間に達すると、セッションがアイドル状態であるかアクティブに使用されているかに関係なく、ユーザーは Cisco CMX UI セッションからログアウトされます。ユーザーは、Cisco CMX に再度ログインする必要があります。
- cmxctl config auth settings** コマンドを使用して、[Session idle timeout in minutes] の設定を構成します。時間範囲は 1 ~ 720 分です。デフォルト値は 30 分です。
- このタイムアウト時間は、Cisco CMX CLI セッションには適用されません。
- (CSCvq82147) Cisco CMX は VMware Snapshot をサポートしています。
 - (CSCvq82305) Hyperlocation および非 Hyperlocation アクセスポイントの両方で、ネットワーク内で報告される到達角 (AoA) の測定値が少なすぎる場合、ロケーションデータは不良になります。
 - (CSCvr16016) Cisco CMX 分析サービスでデータが処理されない問題は、Cisco CMX リリース 10.6.2-72 で修正されましたが、修正を有効にするには、Cisco CMX を再起動する必要があります。
 - (CSCvr26395 および CSCvr26398) Cisco CMX 障害対応ツールは、Cisco Hyperlocation 対応アクセスポイントのみをサポートします。

- (CSCvs57713) Cisco CMX リリース 10.5 以降および Cisco WLC リリース 8.7 以降では、Cisco CMX グループサブスクリプション機能を使用して、1つの Cisco Hyperlocation 対応ワイヤレスコントローラを複数の Cisco CMX サーバーに接続できます。
- (CSCvs68618) Cisco CMX v3 ロケーションAPIからクライアントデータを収集する場合、最後に表示されるタイムスタンプが、Cisco CMX GUIに表示されるタイムスタンプと異なります。
- Cisco CMX リリース 10.6.2-89 では、floorRefId コンポーネントは floorId に置き換えられます。
- (CSCvs89951) ネットワークに Cisco Catalyst 9800 ワイヤレスコントローラがある場合、Cisco CMX の [System > Dashboard] ウィンドウの [Settings > Filtering] セクションにある [Exclude Probing Only Clients] チェックボックスをオンにしないでください。[Exclude Probing Only Clients] チェックボックスをオンにすると、すべてのクライアント（プローブおよび関連クライアント）がコントローラから除外され、Cisco CMX に表示されません。
- (CSCvt83715) サービスを使用していない場合は、Cisco CMX 分析サービスを無効化することを推奨します。
 - Cisco CMX リリース 10.6.2-72 以前を実行している場合は、**cmx-disableanalytics-patch-10.6.2-1.cmxp** パッチファイルをインストールします。パッチファイルについては、シスコカスタマーサポート (<https://www.cisco.com/c/en/us/support/index.html>) にお問い合わせください。
 - Cisco CMX リリース 10.6.2-89 以降を実行している場合は、**cmxctl disable analytics** コマンドを使用します。



(注) **cmxctl disable analytics** コマンドは、Cisco CMX リリース 10.6.2-89 以降でのみサポートされています。

- (CSCvt83902) IDP からの SAML 応答に [User.email]、[User.FirstName]、[User.LastName] 属性が含まれていない場合、Cisco CMX は SSO ログイン中に認証エラーを表示します。
- (CSCvu18413) FIPS/CC/UCAPL への準拠により、Cisco CMX リリース 10.6.0 以降、ルートアクセスは使用できなくなります。障害対応用にルートパッチにアクセスできるのは、Cisco Customer Support のみです。サポートが必要な場合は、シスコカスタマーサポート (<https://www.cisco.com/c/en/us/support/index.html>) にお問い合わせください。

問題

「問題」では、Cisco CMX アプリケーションでの予期しない動作について説明します。「未解決の問題」と「解決済みの問題」の項に、このリリースの問題が一覧表示されています。

未解決の問題

このリリースの Cisco CMX 11.1.0 には未解決の問題はありません。

解決済みの問題

この項では、Cisco CMX 11.1.0 のこのリリースで解決された問題を示します。

表 5: Cisco CMX 11.1.0 解決済みの問題

不具合 ID	説明
CSCwk62270	OpenSSH regreSSHion の脆弱性に対する cmx の評価
CSCwk48102	CVE-2023-48795 は、複数の CMX イメージに影響します。
CSCwk33188	CMX 11.0.1 ApiServer、v3 プロブクライアント数の問題
CSCwm55027	CMX 11.0.1 にマップをインポートできず、空白のイメージが表示されます。
CSCwf36900	CMX-11：ホスト名の変更が保存されないため、永続的ではありません
CSCwf38238	CMX-11：廃止されたまたは機能しない CLI の CDETS のトラッキング
CSCwf36880	CMX-11：システムダッシュボードに、時刻を示すタブがありません。
CSCwf36890	CMX-11: 認証済み NTP はサポートされていません
CSCwj86908	CMX 11.0.1 に誤った実際のディスクサイズが表示されます
CSCwf31042	IPv6 上の CMX11 のほとんどのサービスは、初期設定後に実行中として表示されません。
CSCwj69526	CMX 11 の Nessus によって検出された複数の脆弱性

ドキュメントとサポート

関連資料

- Cisco Spaces 製品情報 :
https://www.cisco.com/c/ja_jp/solutions/enterprise-networks/connected-mobile-experiences/index.html
- Cisco Spaces ドキュメント :
<https://www.cisco.com/c/en/us/support/wireless/dna-spaces/tsd-products-support-series-home.html>
- Cisco CMX のマニュアル :
<https://www.cisco.com/c/en/us/support/wireless/connected-mobile-experiences/tsd-products-support-series-home.html>

- Cisco CMX クラウドのマニュアル：
<https://www.cisco.com/c/en/us/support/wireless/connected-mobile-experiences-cmx-cloud/tsd-products-support-series-home.html>
- Cisco Mobility Services Engine マニュアル：
<https://www.cisco.com/c/en/us/support/wireless/mobility-services-engine/tsd-products-support-series-home.html>
- Cisco Aironet アクセスポイントモジュールのマニュアル：
<https://www.cisco.com/c/en/us/support/interfaces-modules/aironet-access-point-modules/products-installation-guides-list.html>

シスコ サポート コミュニティ

シスコ サポート コミュニティは、ユーザが質問を投稿したり、質問に回答したり、またおすすめ情報を共有するためのフォーラムで、ユーザ同士のコラボレーションを実現します。 [シスココミュニティ](#)のフォーラムに参加してください。

通信、サービス、およびその他の情報

- シスコからタイムリーな関連情報を受け取るには、 [Cisco Profile Manager](#) でサインアップしてください。
- 重要な技術によりビジネスに必要な影響を与えるには、 [Cisco Services](#) [英語] にアクセスしてください。
- サービスリクエストを送信するには、 [Cisco Support](#) [英語] にアクセスしてください。
- 安全で検証済みのエンタープライズクラスのアプリケーション、製品、ソリューション、およびサービスを探して参照するには、 [Cisco DevNet](#) [英語] にアクセスしてください。
- 一般的なネットワーク、トレーニング、認定関連の出版物を入手するには、 [Cisco Press](#) [英語] にアクセスしてください。
- 特定の製品または製品ファミリの保証情報を探すには、 [Cisco Warranty Finder](#) にアクセスしてください。

シスコバグ検索ツール

[シスコのバグ検索ツール \(BST\)](#) は、シスコ製品とソフトウェアの障害と脆弱性の包括的なリストを管理するシスコバグ追跡システムへのゲートウェイです。BSTは、製品とソフトウェアに関する詳細な障害情報を提供します。

マニュアルに関するフィードバック

シスコの技術マニュアルに関するフィードバックを提供するには、それぞれのオンラインドキュメントの右側のペインにあるフィードバックフォームを使用してください。

翻訳について

このドキュメントは、米国シスコ発行ドキュメントの参考和訳です。リンク情報につきましては、日本語版掲載時点で、英語版にアップデートがあり、リンク先のページが移動/変更されている場合がありますことをご了承ください。あくまでも参考和訳となりますので、正式な内容については米国サイトのドキュメントを参照ください。